

受賞報告

受賞名：日本マーケティング学会 マーケティングジャーナル 2017 / ヤングスカラー賞

受賞論文：大久保直也¹・西川英彦² (2017) 「共創志向と競争志向は、ユーザー・イノベーションに有効か —ミニ四駆のイノベーション・コミュニティ—」『マーケティングジャーナル』 Vol.36 No.4、24-39

¹ 不二サッシ株式会社 東京支店営業一部 1 グループ、法政大学大学院経営学研究科修士課程修了

² 法政大学経営学部 兼 大学院経営学研究科 教授

受賞日：2017年10月22日(日)

賞概要：本賞は、日本マーケティング学会の学術誌『マーケティングジャーナル』の Vol.36 No.2 から Vol.37 No.1 までの 4 号 (1 年間) に掲載された論文を対象に、ジャーナル編集委員会のブラインド投票により、若手著者の単著 (あるいは第一著者) 論文に授与される賞である。

論文概要：本研究の目的は、ユーザーによる革新的製品開発であるユーザー・イノベーションが生まれるイノベーション・コミュニティ、なかでも共創しつつその成果を活用して競争する「ミニ四駆」のコミュニティを対象に、共創・競争志向と、ユーザー・イノベーションとの関係を実証的に明らかにするものである。

本研究の発見としては、共創と競争という両志向は、ユーザー・イノベーションの質・量・活用という成果に対して異なる影響を与えていたことである。競争志向は、ユーザー・イノベーション活用の成果 (競技成績) に対して正の影響を与えていた。

一方の共創志向は、ユーザー・イノベーションの質 (機能性) に正の影響を与えていたが、ユーザー・イノベーションの量 (回数および発生の有無) には影響を与えてはいなかった。競争志向が低い場合にのみ、共創志向はユーザー・イノベーションの量に正の影響を与えていた。

さらに、先行研究の整理によって、イノベーション・コミュニティを、非競争・開発型、非競争・活用型、競争・開発型、競争・活用型と 4 類型化したことも本研究の成果である。

(了)